

第36回例会
2022年6月23日

vol. **36**



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

【例会場】福島市上町4-30
クラークリアンテ サンパレス
【例会日】木曜日 12:30
【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011

<https://www.f-rotary.com>

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp
info@f-rotary.com

会長スピーチ



2021-22年度会長 **坪井 大雄**

歴史と伝統ある福島ロータリークラブ会長の職責を全うできるか不安一杯でありましたが、会員皆様の温かいご支援のお陰で何とか一年を終えることができました。心より御礼申し上げます。

昨年度に引き続き、ウィズコロナの社会の中でリアルとリモート併用の場面も多く、また“膝を突き合わせて”というコミュニケーションの取りづらさの中、例会開催はもとより、各委員会を中心に“今できること 今日指すもの”を考え、創意工夫しながら各奉仕事業、親睦事業を展開して下さった会員の皆様に対し、心から敬意を表し感謝申し上げます。

また、ロータリー財団・米山記念奨学会等への寄付、そしてニコニコBOXへの投入も皆様の協力のおかげで、目標を大きくクリアすることができました。

会長としてPETSやRLI、各セミナーに参加でき、あらためてロータリーの定義や基本理念の研修を受けることができました。

ウィズコロナ時代において、経済的な問題はもとより、社会における物事への取り組み方や対応の仕方の変化を受け、その必要性や存在意義まで問われる企業や団体もあると思います。その中において、あらためてロータリーの基礎を見つめなおしてみると、それらとは明らかに一線を画しており、平常時はもちろんのこと現在のような先の見通せない時代においてこそ、より必要な考え方であり価値の高い活

動であると再認識したところでした。

それを踏まえてこれからは、ロータリーの根底に流れる“思いやりのこころ”をもったロータリアンとして、いずれ訪れるアフターコロナ時代に向けて活動していきたいと思っております。

次年度は、相良会長のもと“国内友好クラブ締結”“右近ガバナーエレクト年度”と大変重要な一年になります。会員の皆様におかれましてもクラブの例会や事業をもとより、地区・分区の行事や活動にも積極的に関わり他クラブの方々とも親交を深め、実り多いロータリーライフを楽しんでいただきたいと思っております。

あらためて会員の皆様へ深く感謝申し上げ、年度を終えるにあたっての御礼とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

幹事報告

2021-22年度副幹事 **渡辺 泰子**

- 6/30 (木) 福島RCの例会は理事会承認休会となります。
- 本日、精華苑にて午後6時より次年度職業奉仕委員会が開催されます。また、唐からしにて次年度親睦小委員会が開催されます。委員の皆様よろしくお願いたします。
- 6/30 (木) ボナリ高原ゴルフクラブにて福島RC親睦ゴルフコンペが開催されます。15名の参加を予定しております。懇親会は17:30より「精華苑」にて行われます。
- 6月ロータリーレートは1ドル127円となりますのでお知らせいたします。

本日のプログラム

クラブ委員会委員長より 年間活動報告 坪井大雄 会長スピーチ

ロータリーソング「福島ロータリークラブの歌」
ソングリーダー 渡邊又夫 会員



ロータリー米山記念奨学会伝達
米山記念奨学生カウンセラー感謝状
加藤義朋 会員



米山功労者感謝状伝達 第1回
土屋敦雄 会員・勢島昇 会員



各委員会報告

■例会小委員会

ニコニコBOX 担当

鈴木朋恵 委員



バッジ引継ぎ式

坪井大雄会長から相良元章会長エレクト・吉田大樹次期幹事へ
(坪井大雄会長・渡辺泰子副幹事へ パスト会長バッジ・花束贈呈)



クラブ委員会委員長より 年間活動報告



菅沼 裕
委員長

青少年奉仕小委員会

青少年奉仕小委員会では、インターアクト・ローターアクトと共に共同奉仕活動を行っていききたいという目標のもと、1年間活動してまいりました。

福島東稜高等学校インターアクトはコロナ禍ではありますが、顧問先生が細心の注意を図りながらしっかりと大変素晴らしい活動をしてくださいました。福島学院大学ローターアクトは、様々な地域から集まるといふ大学の特性上学校の規制も厳しく活動自粛を余儀なくされてしまいました。主な活動内容をご報告します。

- ・スポGOMI大会 in ふくしま開催で福島東稜高等学校インターアクト参加
- ・三者合同新世代会議はウェブ会議でしたが福島東稜高等学校インターアクトがホストを務め、「三者合同で作る福島の未来～持続可能な社会を目指して」をテーマに開催しました。大変素晴らしい内容でした。
- ・第2530地区ロータリー青少年指導養成プログラム (RYLA) には、みずほ銀行様2名が参加していただきました。
- ・二本松ロータリークラブがホストクラブで第2530地区県北第一分区新世代会議へ福島東稜高等学校インターアクトが18名参加し大変盛り上がりしました。

コロナ感染拡大防止の観点から、インターアクト・ローターアクトとの懇親を深める機会がほとんどなかったことが大変残念でした。また委員会開催もなかなかできなく、4回開催のうち、3回は例会後に、1回は書面にての報告書になってしまいました。

青少年奉仕小委員会の会員の皆様に感謝申し上げ報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



右近 八郎
委員長

ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員会の活動は、「寄付活動」と「補助金の活用」に分けられます。

「寄付活動」に関しては、志賀利彦ガバナーによる2021-22年度の地区目標「ロータリー財団の理解と地区財団活動資金(DDF)の活用」のもと、2021.7.1時

点での会員数94名として、

- ・一般寄付一会員当たり $(\$150 + \$30) \times 94名 = \$16,920$
- ・任意個人寄付 合計 \$5,529 (ウクライナ災害支援基金 \$819 含む、2022.5.10 現在)
- ・ベネファクター 1名 (\$1,000)

となり、年度合計 \$23,449、一会員当たり \$249.46 となり、一会員当たりの地区目標 \$180 を大幅に超え目標を達成しました。会員各位の皆様のご協力をいただき、ロータリー財団委員会一同心よりお礼申し上げます。

一方、「補助金の活用」に関しては、ロータリー奉仕デーのためのイベント「スポGOMI大会」を実施するため2021-2022年度地区補助金に申請、承認を受けて、612,500円の地区補助金を受けました。

※「スポGOMI大会」について

2021-22年度のシェカール・メータRI会長が提唱する「ロータリー奉仕デー」として、ごみ収集とスポーツを融合させた「スポGOMI大会」(2021年7月11日)を開催し、参加者300名を超える大会となりました。福島市、地区、県北第一分区のご協力をいただき、マスコミ各社でも報道され、ロータリークラブの公共イメージ向上に資するイベントになりました。



森岡 幸江
委員

米山記念奨学会委員会

1. 会員の皆様からご理解とご協力をいただき、普通寄付金5,000円、特別寄付10,000円、一人当たり15,000円の寄付目標を達成できました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

2. 福島大学大学院に留学予定であったスーダンからのOMERさんが、新型

コロナの影響により2021度は来日が叶わず、また昨年のスーダンにおける軍事クーデターによる国境閉鎖等の障害、その他諸事情により、残念ながら福島大学大学院への留学を断念することになってしまいました。

3. 例会場で特別寄付(小口寄付)の呼びかけを、各委員が持ち回り担当で毎例会行いました。
4. コロナ禍でZoom参加がメインとなりましたが「卓話集会」「米山体験発表会」「米山梅吉記念館研修会」「修了式」等に加藤義朋副委員長(兼カウンセラー)が出席いたしました。
5. 会員の皆様に再度、米山記念奨学事業のご理解を深めていただき、特別寄付への積極的なご協力をお願いするために10月例会時に「米山記念奨学事業について」と題してプレゼンテーションを行いました。



八巻 恵一
委員長

親睦小委員会

コロナ禍の中、「新しい生活様式」をふまえた各親睦事業を企画・運営し、会員相互の理解と交流を深める事を目標に活動いたしました。

しかしながら、コロナによる活動制限により、中止を余儀なくされた行事があり残念な年度でありました。

ご理解ご協力を賜りました会員の皆様に御礼申し上げます。

①夜間例会の運営

- ・新旧役員慰労夜間例会(中止)
- ・残暑払い夜間例会(中止)
- ・年忘れ家族夜間例会(2021年12月23日 サンパレス)
- ・観桜夜間例会(2022年4月21日 サンパレス)

②クラブ親睦事業等の運営及び協力

- ・クラブコンペ
- 第1回コンペ(中止)
- 第2回コンペ(2021年11月5日 パーシモンC.C)
- 第3回コンペ(2022年6月30日 ボナリ高原G.C)

- ・東京交歓会 (2022年6月17日 北大路 赤坂茶寮)
オプショナルツアー (日本銀行本店・貨幣博物館)
- ・TENの会への協力 (2021年10月28日 精華苑)
(2022年1月4日ローゼンケラー)
(2022年5月25日ローゼンケラー)
- ・第1回古稀の会への協力 (2022年6月9日 サンパレス)
- ③地区・分区行事への参加
- ・分区親善ゴルフコンペ開催 (ホストクラブ)
(2022年4月16日 パーシモンC.C)



鈴木 朋恵
委員

例会小委員会

クラブ例会は新型コロナウイルスや福島県沖地震の影響があったにもかかわらず、坪井会長、金子幹事はじめ会員皆様のご協力により夜間例会2回を含む、全36回開催することができました。ただ新会員スピーチについては、年度内に新会員全員のスピーチを終えることができず、この場を借りてお詫び申し上げます。しかしながら、八巻親睦委員長率いる親睦委員会のご協力のもと、制約はありましたが夜間例会を開催することができ、出席した皆様が笑顔で楽しいひと時を過ごせたことは大変良かったと思っております。

ニコニコBOXにつきましては、コロナ禍や休日週の休会等で例会開催回数が減る中ではありましたが、会員の皆様の多大なるご協力により目標金額を大きく上回るご投入をいただきました。改めて感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



丹治 正博
委員長

情報小委員会

【目標・方針】

ロータリーの目的に掲げられた4つの項目の達成のために、①ロータリーの幅広い実践内容と坪井会長の年度方針が十分に理解されること、②会員の特典や責務が果たせるような情報をクラブ会報やクラブ通信の発行を通じて提供することを目標に掲げました。

また、日々各委員会の諸活動を公共イメージ委員会が所管するクラブホームページやマスコミを通じて広く情報発信に努めることを掲げて1年間活動を行いました。

【活動について】

1. 福島ロータリークラブ会報の定期発行

特に会長・幹事の意向に沿った紙面構成に心掛けるとともに、会報当番にあたる委員には、例会におけるお客さまや発表者などの写真を洩れなく撮影していただくことを徹底しました。以前には、例会時の写真が少なかったり、デジカメの調子が悪く、撮影ができなかった時など、紙面編集に苦心したことがありましたので、例会当日の撮影は当番委員のほか、私も可能な限りバックアップ撮影やICレコーダーでの録音を行い、データの収集に万全を期しました。

また、ニコニコBOXのメッセージや投入者氏名の入力についても、正確な入力を心掛けました。

原稿の依頼にあたっては、デジタルデータをメールでやりとりすることを基本としてスムーズな入稿と、校正作業

の省力化に努めました。

1年間の会報の内容を振り返って印象に残っておりまことは、今期は外部スピーチが多かったことで、9名の方々にお願い申し上げます。

中でも、経産省木野さんの原発処理水と風評被害払拭のお話はスピーチ全文を掲載しましたが、是非皆さんにお伝えしたいお話として印象に残っております。

また、12月9日に開催されたマスコミ懇談会では、今回マスコミ各社のご担当者のご意見を可能な限り掲載いたしました。充実した内容になったものと思います。

その他、連載として「私の一言」も会員皆様のご協力をいただき、無事掲載できましたことを感謝申し上げます。

また、「ニコニコBOX報告」の掲載にあたっては、会員の異動に応じて名簿の修正を行う必要があり、事務局の小澤さんにはご協力をいただきました。

2. 「クラブ通信」の発行

3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震の影響で会場が一時使用不能となり例会が休会となりました。これを受けて3月31日クラブ通信1号を発行しました。内容は、3月10日開催の東日本大震災・原子力災害伝承館、震災遺構の視察例会、3月12日開催の三者合同新世代会議などでした。

3. 新会員セミナーの実施

12月9日に新会員セミナーを開催いたしました。また、4月2日には県北第一分区2021-22年度新会員オリエンテーションが福島南RCのホストで開催され、出席いたしました。

以上、会報は最終例会を含め36号を発行、また記念号として8月21日に開催の阿久津パストガバナーのRI超我の奉仕賞授与式の特集号を発行、クラブ通信は1号発行しました。



菅野 晋
SAA

会場監督

今年度のSAAは、例会出席者の人数把握と例会の食事のメニュー選定を重要な内容として活動してきた。

以前から例会時に、全く箸を付けることなく廃棄されていた食事が多数あったことに心を痛めており、例会の食事の廃棄ゼロを目指すことが、今社会で盛んに叫ばれているSDGsに繋がるのではないかと考え、これを実践することとした。

例会の食事の無駄な廃棄をしないための人数把握と食事の発注管理をし、このため会員に毎月の例会出欠の返信の徹底を呼びかけた。その結果一部の会員を除き、ほとんどの会員から例会出欠の返信をもらうことができた。それにより下期の例会は、食事の廃棄がほぼ無くなった。ただそのため、実数分しか席を用意しなかったことにより、着席できる席に余裕がなく、会員に不便をかけたことを申し訳なく思う。

例会時の食事の廃棄ゼロについては、ロータリークラブとして持続可能な社会の形成に繋がり、クラブの支出削減となることから、次年度以降も継続して行うことを希望する。

ロータリー米山記念奨学会 感謝状伝達



■米山記念奨学生カウンセラー感謝状
加藤 義朋 会長

米山功労者 感謝状伝達



■第1回米山功労者
土屋 敦雄 会員

福島RC 親睦ゴルフコンペ



6/30(木) ボナリ高原ゴルフクラブにて福島RC親睦ゴルフコンペ(参加者15名)が行われました。表彰式は夕刻より精華苑にて開催しました。

結果は以下の通りです。

- 優勝 佐藤英典 会員
- 準優勝 吉田大樹 会員 (ベスグロ)
- 3位 坪井大雄 会長
- 4位 八巻恵一 会員
- 5位 箱岩 偉 会員

私のひと言

(株)フォーピース 代表取締役社長

菅沼 裕 会員



弊社取引メーカーの新入社員紹介アンケートを見ました。

今まで尊敬する人を新入社員48人(男33人・女15人)に聞くと両親・父・母と答えた人数が29人(男19人・女10人)と60%を占めました。

選びやすい対象だからかな?とも思いましたが、理由のほとんどが金銭的に大変なのに大学に進学させてくれたという感謝でした。

理由がほぼ一致しているところから、選びやすいからだけでは無い社会事情があるように思いました。

その他には、大谷翔平(日本人として世界で活躍している)池江璃花子(オリンピック水泳選手)など、現在活躍している人物が多くインターネットでリアルタイムに知ることの方が若い年代の方々は、解りやすく対象になりやすいのかと思います。

歴史上の人物にもっと尊敬できる凄い人はいるのでは?と思ってしまうのはおじさん過ぎなのかもしれませんね。

例会プログラムのご案内

- 7月14日(木) 12:30~「クーラクーリアンテサンパレス」
【通常例会】相良 元章 会長スピーチ
吉田 大樹 幹事スピーチ
クラブ協議会

*「友」紹介

- 7月21日(木) 18:30~「クーラクーリアンテサンパレス」
【夜間例会】新旧役員慰労夜間例会

ニコニコBOX報告 [報告] 鈴木朋恵 委員 本日の投入額47件

1年間皆様に多くのご協力をいただきありがとうございました。

(メッセージ会員)

○阿久津 肇 PG

坪井会長、コロナ禍のなか色々ご苦労があったと思いますが、1年間ご苦労様でした。貴重な体験を今後のクラブのために役立ててください。

○加藤 義朋 会員

米山記念奨学生オメール君、地震大国への恐怖のニュースを受け、来日辞退(拒否)されました。福島大学の方は退学となりました。

○菅野 晋 会員

坪井会長、渡辺副幹事1年間お世話になりました。

○草野武夫 会員

坪井会長、コロナ禍の中、1年間のご奮闘お疲れ様でした。

○後藤 忠久 会員

会長、幹事さん、コロナ禍でのクラブ運営、大変ご苦労様でした。会長スピーチを期待しております。

○古俣 猛 会員

坪井会長、大変お疲れ様でした。次は地区幹事。重ね重ねご苦労様です。

○相良 元章 会員

坪井会長、最終例会お疲れ様でした。7月から“必死”で頑張ります。

○白岩 康夫 会員

坪井会長並びに幹事、役員の皆様1年間ご苦労様でした。モニワザクラについてスピーチの機会をいただき有難うございました。

○長谷部 一雄 会員

坪井会長、渡辺副幹事はじめ役員・理事の皆さん1年間ご苦労様でした。

○村上 守人 会員

坪井会長、渡辺副幹事、1年間お疲れ様でした。

○山内 修平 会員

坪井会長、一年間誠ににお疲れ様でした。

○渡辺 健寿 会員

坪井会長年度最後の例会となりました。坪井会長はじめ役員・理事の皆様の新型コロナ禍に負けないご尽力に心より感謝申し上げます。

○坪井 大雄 会長

1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。今後とも引き続きご指導宜しくお願いいたします。

○小澤 陽子 事務局員

坪井会長、1年間大変お疲れ様でした。ご多忙の中、常に事務局にもご配慮いただき心より感謝申し上げます。また会員の皆様にもいつも温かいお心遣いを賜り、重ねて御礼申し上げます。ここでの経験は全て貴重な財産と思っております。次年度も引き続き宜しくお願いいたします。

○他に 安藤健次郎/大槻美恵子/岡田新也/荻野誠也/小原孝嗣/菅野裕一/五阿弥宏安/小林仁一/佐藤英典/佐藤充孝/佐藤美奈子/佐藤良智/清水太郎/菅沼裕/鈴木朋恵/鈴木勇人/高田博樹/田沼紀美子/丹治正博/土屋牧雄/寺田 充/中尾 勉/中川宏生/三宅 喬/村山成也/森岡幸江/八代大輔/藪 政勝/八巻恵一/山崎高寛/吉田大樹/渡邊又夫/渡辺泰子